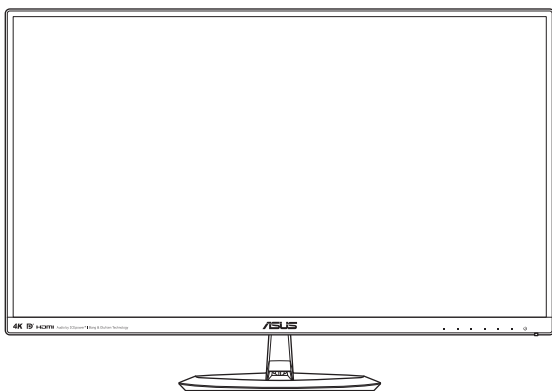


ASUS[®]

**MX27Uシリーズ
液晶ディスプレイ**

ユーザーガイド



HDMI[™]
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

初版

2015年11月

Copyright © 2015 ASUSTeK COMPUTER INC. All Rights Reserved.

本マニュアルのいかなる部分も、購入者のバックアップ目的の場合を除き、ASUSTeK COMPUTER INC. (以下「ASUS社」)からの書面による事前の明示的な許可なしには、本書に記載された製品およびソフトウェアを含め、いかなる条件下でも、またいかなる形式でも複製、伝送、複写、検索システムへの格納、いかなる言語への翻訳も行うことができません。

以下の場合、製品保証やサービスを受けることができません：(1) 製品に対し、ASUS社により書面で許可されていない修理、改造、変更が行われた場合、(2) 製品のシリアル番号が破損したり紛失した場合。

ASUS社は明示的であれ黙示的であれいかなる種類の保証もない本書を「現状のまま」提供するものであり、商業的価値または特定目的への適合性の暗黙的保証または条件を含め、いかなる保証も含めません。いかなる場合も、ASUS社、同社の取締役、役員、従業員、代理人は、たとえ損害の可能性について告知されていた場合でも、本書または製品の欠陥やエラーに起因する間接的、特別な、偶発的、または結果として生じる損害(利益の損失、取引上の損失、使用の損失、データの損失、事業の中断などを含む)に対して責任を負わないものとします。

本書に記載された仕様や情報は情報の使用のみを目的として提供されるもので、随時、事前の予告なしに変更する場合があります。ASUS社による保証と解釈されるものではありません。ASUS社は本書の内容については万全を期して作成しましたが、製品およびソフトウェアなどの記載に万一誤りや正確さに欠ける部分があっても、ASUS社は一切責任を負いません。

本書に記載された製品名および会社名は、それぞれの会社の登録商標または著作権である場合があります。本書では所有者を特定したり説明したりするために使用しており、侵害の意図はありません。

目次

| | |
|-----------------------------|------|
| Notices..... | iv |
| 安全情報 | viii |
| お手入れについて..... | ix |
| 回収サービス..... | x |
| 1.1 ようこそ!..... | 1-1 |
| 1.2 パッケージに含まれるもの..... | 1-1 |
| 1.3 ディスプレイベースの組み立て..... | 1-2 |
| 1.4 ケーブルの接続..... | 1-3 |
| 1.4.1 液晶ディスプレイ背面..... | 1-3 |
| 1.5 ディスプレイ各部の説明..... | 1-4 |
| 1.5.1 コントロールボタンの使用..... | 1-4 |
| 1.5.2 QuickFit機能..... | 1-6 |
| 2.1 ベースの取り外し..... | 2-1 |
| 2.2 ディスプレイの調整..... | 2-2 |
| 3.1 OSD(オンスクリーン表示)メニュー..... | 3-1 |
| 3.1.1 設定方法..... | 3-1 |
| 3.1.2 OSD 機能の紹介..... | 3-2 |
| 3.2 仕様..... | 3-13 |
| 3.3 トラブルシューティング(FAQ)..... | 3-14 |
| 3.4 対応タイミンガー一覧..... | 3-15 |

Notices

Federal Communication Commission Interference Statement

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC Caution: Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

Radiation Exposure Statement:

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with minimum distance 20 cm between the radiator & your body.

Note: The country code selection is for non-US model only and is not available to all US model. Per FCC regulation, all WiFi product marketed in US must fixed to US operation channels only.

Industry Canada statement

This device complies with RSS-210 of the Industry Canada Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Ce dispositif est conforme à la norme CNR-210 d'Industrie Canada applicable aux appareils radio exempts de licence. Son fonctionnement est sujet aux deux conditions suivantes:

- (1) le dispositif ne doit pas produire de brouillage préjudiciable, et
- (2) ce dispositif doit accepter tout brouillage reçu, y compris un brouillage susceptible de provoquer un fonctionnement indésirable.

Radiation Exposure Statement:

This equipment complies with IC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with minimum distance 20 cm between the radiator & your body.

Déclaration d'exposition aux radiations:

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements IC établies pour un environnement non contrôlé. Cet équipement doit être installé et utilisé avec un minimum de 20 cm de distance entre la source de rayonnement et votre corps.

Europe – EU Declaration of Conformity

This device complies with the essential requirements of the R&TTE Directive 1999/5/EC. The following test methods have been applied in order to prove presumption of conformity with the essential requirements of the R&TTE Directive 1999/5/EC:

- EN60950-1
Safety of Information Technology Equipment
- EN 62311
Assessment of electronic and electrical equipment related to human exposure restrictions for electromagnetic fields (0 Hz-300 GHz)
- EN 300 328
Electromagnetic compatibility and Radio spectrum Matters (ERM); Wideband Transmission systems; Data transmission equipment operating in the 2,4 GHz ISM band and using spread spectrum modulation techniques; Harmonized EN covering essential requirements under article 3.2 of the R&TTE Directive

- EN 301 489-17

Electromagnetic compatibility and Radio spectrum Matters (ERM); ElectroMagnetic Compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 17: Specific conditions for 2,4 GHz wideband transmission systems and 5 GHz high performance RLAN equipment

- EN 301 489-1

Electromagnetic compatibility and Radio Spectrum Matters (ERM); ElectroMagnetic Compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 1: Common technical requirements

NCC

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

MIC

電波法により5 GHz帯は屋内使用に限ります。

KCC

<IN USER GUIDE or other INSTRUCTION>

“해당 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없음”

(This wireless/radio equipment can't be used for services of safety in human life because it has a possibility of radio interference)

OFCA

(c) The label should be attached to an outside surface of the equipment.

In the case that affixing the label to an outside surface of the equipment is not practical, the manufacturer, supplier or dealer should print the label on the packing materials and/or user manuals.



As an Energy Star® Partner, our company has determined that this product meets the Energy Star® guidelines for energy efficiency.

カナダ通信省 (Canadian Department of Communications) の適合宣言

本デジタル装置は、カナダ通信省の電波障害規制 (Radio Interference Regulations) で規定されている、デジタル装置からの電波ノイズ放射に関する Class B 制限を超えません。

本 Class B デジタル装置は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

AEEE Yönetmeliğine Uygundur

安全情報

- ディスプレイのセットアップを行う前に、本製品に付属するすべての説明書をよくお読みください。
- 火事や感電の原因となるため、ディスプレイを雨や湿気にさらさないでください。
- ディスプレイのキャビネットは絶対に開けないでください。ディスプレイ内部には危険な高電圧が通っており、重症を負う恐れがあります。
- 電力供給装置が破損した場合は、ご自分で修理しないでください。専門のサービス技師または販売店にお問い合わせください。
- 本製品をご使用になる前に、すべてのケーブルが正しく接続されており電源コードが損傷していないことをご確認ください。何らかの損傷を発見した場合は、ただちにお買い上げ店までご連絡ください。
- キャビネット背面または上部にあるスロットおよび開口部は換気のために設けられています。これらのスロットをふさがないでください。適切な換気を施さない状態で、本製品をラジエータや熱源のそばまたは上に置かないでください。
- ディスプレイの操作には、ラベルに表示されたタイプの電源のみをご使用ください。自宅の電源タイプがご不明の場合は、お買い上げ店または地域の電力会社までお問い合わせください。
- お住まいの地域の電力標準に合った、適切な電源プラグをご使用ください。
- OAタップや延長コードに過負荷をかけないでください。過負荷は火災や感電を引き起こす恐れがあります。
- 埃、湿気、極端な温度を避けてください。ディスプレイを水がかかるときの恐れのある場所に置かないでください。ディスプレイは安定した平面に置いてください。
- 雷雨の時や長期にわたって使用しない場合は、装置の電源コードを抜いておいてください。こうすることで、ディスプレイは電力サージから保護されます。
- ディスプレイキャビネットのスロットに、異物を押し込んだり液体をこぼしたりしないでください。
- 満足できる操作を行えるように、ディスプレイは100-240V ACと記され正しく構成されたレセプタクルを持つ、UL指定を受けたコンピュータのみで使用ください。
- コンセントは、装置の近くで、すぐ手の届く場所に設置する必要があります。
- ディスプレイに技術的な問題が発生した場合は、専門のサービス技師または販売店にお問い合わせください。
- 本製品には、カリフォルニア州で、癌および先天性異常の原因となったり、その他生殖への危害をもたらすことが分かっている化学物質が含まれています。取扱い後は手を洗ってください。

お手入れについて

- ディスプレイを持ち上げたり別の場所に移したりする際は、あらかじめケーブルや電源コードを抜いておくことをお勧めします。ディスプレイを設置する際は、正しいやり方で持ち上げてください。ディスプレイを持ち上げたり持ち運んだりする際は、本体の端をつかむようにしてください。スタンドやコードでディスプレイを持ち上げないでください。
- お手入れ方法。ディスプレイの電源をオフにし、電源コードを抜きます。ディスプレイ表面を、きれいな柔らかい布で拭きます。頑固な汚れには中性クリーナーで湿らせた柔らかい布をお使いください。
- アルコールやアセトンを含むクリーナーは使用しないでください。液晶ディスプレイ用のクリーナーをご使用ください。クリーナーを画面に直接吹き付けることは絶対にしないでください。クリーナー液がディスプレイ内部に入ると、感電を引き起こす原因となります。

以下の症状は、ディスプレイの正常な状態です：

- 使用してもまもないうちは、蛍光灯の性質により画面がちらつくことがあります。電源を切り再度入れ直すことで、画面のちらつきはなくなります。
- ご使用のデスクトップパターンによって、画面の輝度にわずかにむらがあるように感じる場合があります。
- 同じ画像が何時間も続けて表示されると、画像を切り替えた後も前の画面の残像が残る場合があります。この場合、画面はゆっくり回復していきます。または電源をオフにして数時間すると直ります。
- 画面が真っ黒になったり点滅するか、あるいは動作しなくなった場合、販売店またはサービスセンターに修理を依頼してください。画面をご自分で修理しないでください。

本マニュアルの表記法



警告：作業を行う際、怪我を防ぐための情報です。



注意：作業を行う際、部品の損傷を防ぐための情報です。



重要：作業を行う際に従うべき情報です。



注：作業を行う際のヒントや追加情報です。

詳細な情報を閲覧するには詳細な情報を閲覧するには

追加情報や、製品およびソフトウェアのアップデートについては、以下の情報源を参照してください。

1. ASUS社ホームページ

ASUS社ホームページでは、世界中に向けてASUS社のハードウェアおよびソフトウェア製品の最新情報を提供しています。<http://www.asus.com>を参照してください。

2. オプション文書

お買い上げの製品パッケージには、販売業者によって追加されたオプション文書が同梱されている場合があります。これらの文書は標準パッケージの一部ではありません。

回収サービス

ASUS社のリサイクルおよび回収プログラムは、当社の環境保護に対する最高水準への取り組みに由来しています。当社は、お客様が責任を持って当社の製品、電池、その他の部品および包装材をリサイクルできるようにするためのソリューションを提供していると信じています。

異なる地域のリサイクルに関する詳細情報については、<http://csr.asus.com/english/Takeback.htm> にアクセスしてください。

1.1 ようこそ!

ASUS® 液晶ディスプレイをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ASUS 社の最新のワイド画面液晶ディスプレイは、より鮮明で幅が広く、明るいディスプレイに加え、表示体験を豊かにするための便利な機能を搭載しています。

これらの機能により、ディスプレイがお届けする便利で快適なビジュアル体験をお楽しみいただけます。

1.2 パッケージに含まれるもの

パッケージに、以下の付属品が入っていることを確認してください：

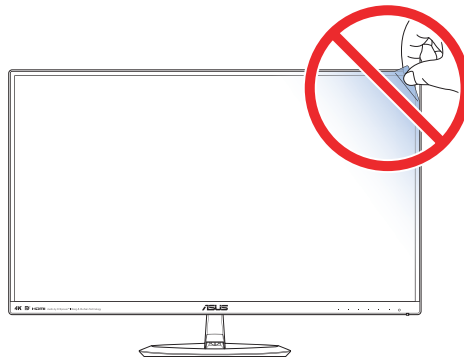
- ✓ 液晶ディスプレイ
- ✓ ディスプレイベース
- ✓ クイックスタートガイド
- ✓ 保証書
- ✓ 1x 電源アダプタ
- ✓ 1x 電源コード
- ✓ 1x HDMIケーブル
- ✓ 1x DPケーブル(オプション)



-
- 上記アイテムが損傷したり紛失した場合は、ただちに販売店までご連絡ください。
-



注意

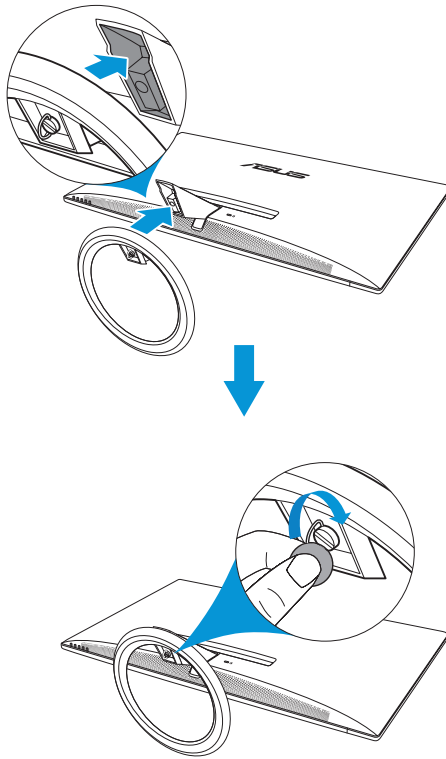


1.3 ディスプレイベースの組み立て

1. ディスプレイの前面を下にして、テーブルの上に置きます。
2. アームにベースを取り付けます。
3. ネジを時計回りに回して、ベースを固定します。その後、ディスプレイをもっとも見やすい角度に調整します。

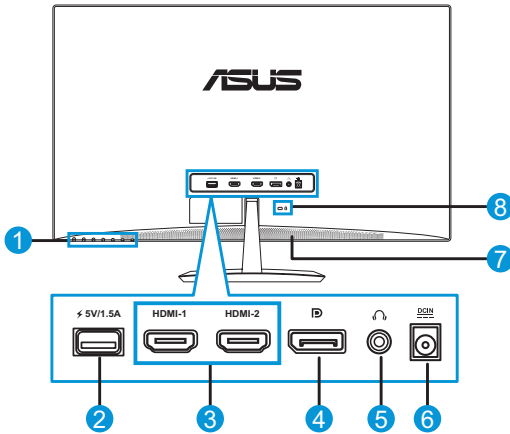


- ディスプレイの損傷を防ぐために、テーブルの表面に柔らかい布を敷くことをお勧めします。



1.4 ケーブルの接続

1.4.1 液晶ディスプレイ背面



1. コントロールボタン
2. USBポート/パワーUSB (5V/1.5A)
3. HDMI-1/ HDMI-2ポート*
4. DisplayPort
5. イヤホンジャック
6. DC入力ポート
7. スピーカー
8. ケンジントンロック

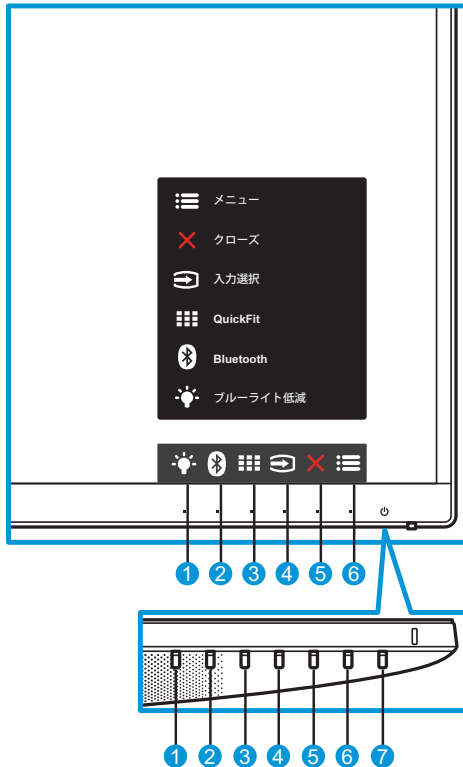





- *HDMI-2 ポートは 4K を 60Hz でサポートできます。





1.5 ディスプレイ各部の説明

1.5.1 コントロールボタンの使用

ディスプレイ背面にあるコントロールボタンを使用して、画像設定を調整します。キー 1 ～ 6 にタッチして、キー一覧ページを開きます。



1.  ショートカットキー-2:
 - これはショートカットキーです。デフォルト設定は、ブルーライト低減です。
2.  ショートカットキー-2:
 - これはショートカットキーです。デフォルト設定はBluetoothです。
3.  QuickFit ボタン:
 - これは、位置合わせのために設計された、**QuickFit**機能をアクティブにするためのホットキーです。

- **QuickFit** 機能には、いくつかのページの共通グリッドパターン、用紙サイズ、写真サイズが含まれます。詳細は、page 1-6 を参照してください。
4.  入力ボタン:
 - 入力ソースを切り替えます。
 5.  クローズボタン:
 - OSDメニューを終了します。
 6.  メニューボタン:
 - OSDメニューを開きます。
 7.  電源ボタン/電源インジケータ:
 - ディスプレイ電源のオン/オフを切り替えるにはこのボタンを押します。
 - 電源インジケータの色は、以下の表のように定義されています。
 - ブルートゥース機能オフ:

| 状態 | 説明 |
|----|----------|
| 白 | オン |
| 黄色 | スタンバイモード |
| オフ | オフ |

- ブルートゥース機能オン:

| 状態 | 説明 | |
|----|----|----------------------------|
| 白 | オン | ブルートゥースオーディオデバイスが接続されています。 |
| | 点滅 | ブルートゥースオーディオデバイスが切断されています。 |
| 黄色 | オン | ブルートゥースオーディオデバイスが接続されています。 |
| | 点滅 | ブルートゥースオーディオデバイスが切断されています。 |

1.5.2 QuickFit機能

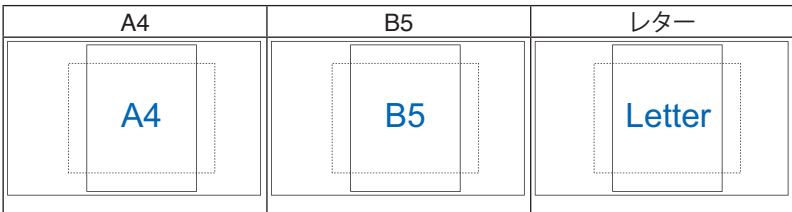
QuickFit 機能には、次の 3 つのパターン：(1) グリッド (2) 用紙サイズ (3) 写真サイズがあります。

QuickFit には、次の 3 つのパターンがあります。

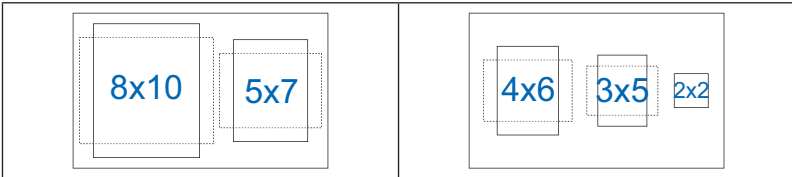
1. グリッドパターン：設計者やユーザーが1ページ上でコンテンツとレイアウトを簡単に整理し、一貫性のあるルックアンドフィールを実現することができます。



2. 用紙サイズ：画面上に実物サイズでドキュメントを表示します。



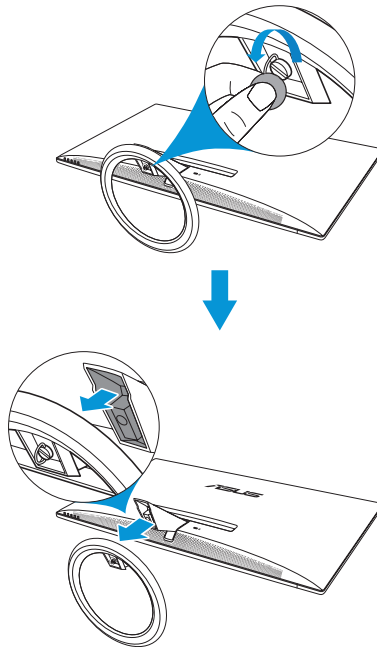
3. 写真サイズ：写真家を初めとするユーザーが、画面上に実物大で写真を正確に表示し、編集できるようにします。



2.1 ベースの取り外し

ベースを取り外すには、以下を行います：

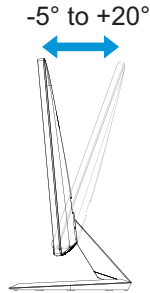
1. 電源と信号ケーブルを抜きます。ディスプレイの前面を下にして、きれいなテーブルの上に注意して置きます。
2. ベース下部にあるネジを反時計回りに回して緩めます。
3. または、ドライバーを使ってベースをスタンドに固定しているねじを直接抜き、スタンドからベースを取り外すこともできます。



- ディスプレイの損傷を防ぐために、テーブルの表面に柔らかい布を敷くことをお勧めします。
- ネジを取り外している間、ベースを支えます。

2.2 ディスプレイの調整

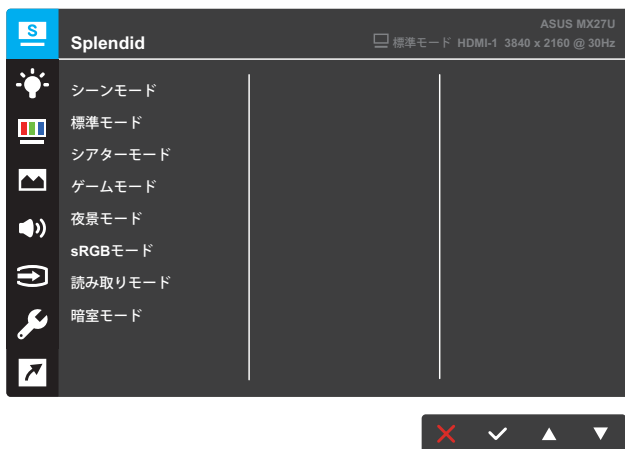
- 快適にご使用いただくために、ディスプレイを正面にしたときに画面がもっともよく見える角度に調整することをお勧めします。
- 角度を変える際は、ディスプレイが落ちないようにスタンド部を押さえてください。
- ディスプレイの角度は -5° ~ $+20^{\circ}$ の間で調節可能です。



-
- 視野角を調整する際、ディスプレイが多少揺れることがありますが、これは正常です。
-

3.1 OSD (オンスクリーン表示) メニュー

3.1.1 設定方法

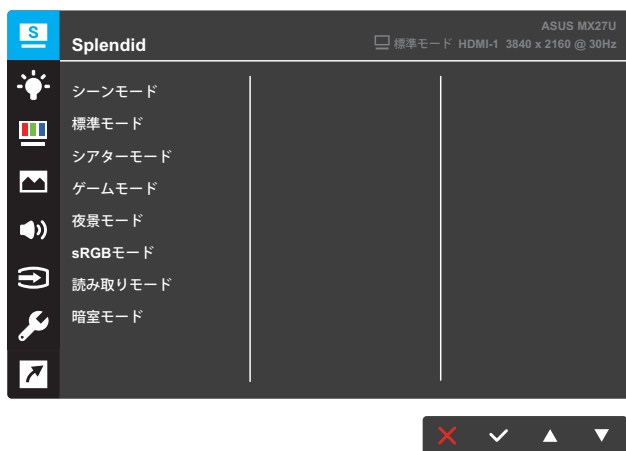


1. [メニュー]ボタンを押してOSDメニューを開きます。
2. メニューで、▼と▲ボタンを押して、オプションを切り替えます。アイコン間を移動すると、オプション名がハイライト表示されます。
3. メニューにハイライト表示されたアイテムを選択するには、✓ ボタンを押します。
4. ▼と▲ボタンを押して、目的のパラメータを選択します。
5. ✓ ボタンを押してサイドバーに移動し、▼と▲ボタンを使い、メニュー上のインジケータに応じて変更を行います。
6. 左向き矢印を選択して前のメニューに戻るか、✓ を選択して変更を受け入れ前のメニューに戻ります。

3.1.2 OSD 機能の紹介

1. Splendid

この機能には 8 つのサブ機能があり、お好みに応じて選択することができます。各モードにはリセットオプションがあり、設定の変更内容を維持するか、プリセットモードに戻るかを選択できます。



- **シーンモード**: SPLENDID™ビデオインテリジェンス技術を使用して、風景フォトを表示するのに最適なモードです。
- **標準モード**: SPLENDID™ビデオインテリジェンス技術を使用して、ドキュメントを編集するのに最適なモードです。
- **シアターモード**: SPLENDID™ビデオインテリジェンス技術を使用して、ムービーを鑑賞するのに最適なモードです。
- **ゲームモード**: SPLENDID™ビデオインテリジェンス技術を使用して、ゲームをプレーするのに最適なモードです。
- **夜景モード**: SPLENDID™ビデオインテリジェンス技術を使用して、画面の暗いゲームをプレーしたりムービーを鑑賞するのに最適なモードです。
- **sRGBモード**: PC からの写真やグラフィックスを表示するために最適なモードです。
- **読み取りモード**: SPLENDID™ビデオインテリジェンス技術を使用して、読書をするのに最適なモードです。
- **暗室モード**: SPLENDID™画質インテリジェンス技術を使用した弱い周囲光環境に最適なモードです。



- 標準モードでは、彩度、肌の色合い、鮮明度、および、ASCR機能をユーザーが設定することはできません。
- sRGBでは、彩度、カラー、肌の色合い、鮮明度、明るさ、コントラスト、および、ASCR機能をユーザーが設定することはできません。
- 読み取りモードでは、彩度、肌の色合い、ASCR、コントラスト、および、カラー機能をユーザーが設定することはできません。

2. ブルーライト低減

LED バックライトから放射される青色光のエネルギーレベルを低減します。



- **レベル 0:** 変更しません。
- **レベル 1 ~ 4:** レベルが高くなるにつれ、より多くの青色光を低減します。



- ブルーライト低減がアクティブになると、標準モードのデフォルト設定が自動的にインポートされます。
- レベル 1 からレベル 3 の間は、明るさ機能はユーザーが設定可能です。
- レベル 4 は、最適化された設定です。明るさ機能をユーザーが設定することはできません。

3. 色

このメニューでは、好みの画像カラーを選択します。



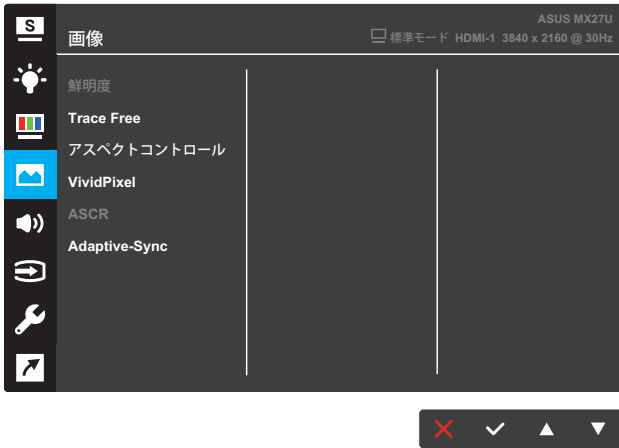
- **明るさ**：明るさレベルを調整します。0～100の範囲で調節可能です。
- **コントラスト**：コントラストレベルを調整します。0～100の範囲で調節可能です。
- **彩度**：彩度レベルを調整します。0～100の範囲で調節可能です。
- **カラー**：目的のカラーを選択します。利用可能なオプション：**冷たい、通常、暖かい、ユーザーモード**。



- ユーザーモードでは、赤、緑、青の色みのユーザー設定が可能です。0～100の範囲で調整します。
- **肌の色合い**：目的の肌の色を選択します。利用可能なオプション：**赤みがかった色、自然および黄色っぽい色**。

4. 画像

このメニューから、画像の鮮明度、Trace Free、アスペクトコントロール、VividPixel、ASCR、Adaptive-Syncを調整することができます。



- **鮮明度**: 画像の鮮明度を調整します。0～100の範囲で調節可能です。
- **Trace Free**: オーバードライブ技術により、応答時間を短くします。0 (遅い)～100 (速い)の範囲で調節可能です。
- **アスペクトコントロール**: アスペクト比を「フル画面」、「4:3」、または「OverScan」に調整します。

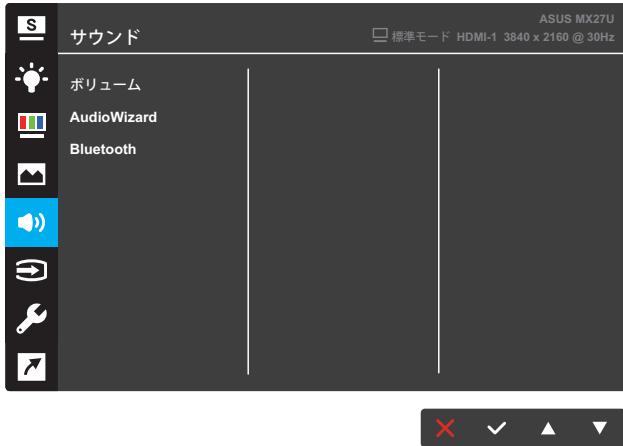


- 4:3は、入力ソースが4:3形式である場合のみ利用可能です。

- **VividPixel**: 透き通ったディテール指向の楽しみのために用意された、実物そっくりなリアルなビジュアルをもたらすASUS社だけの技術。調整範囲は 0～100 です。
- **ASCR**: オンまたはオフを選択して、ダイナミックコントラスト比機能を有効化/無効化します。
- **Adaptive-Sync**: オンまたはオフを選択して、DisplayPort ストリーム 1.2 を介して、ダイナミックリフレッシュレート範囲40Hz～60Hzを有効化/無効化します。

5. サウンド

サウンド設定を行います。

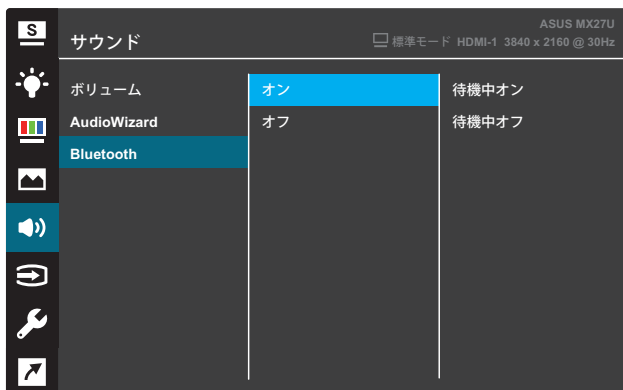


- **ボリューム:** ボリュームレベルを調整します。
- **AudioWizard:** プリセットのサウンドモードを選択します。利用可能なオプション: **音楽モード、映画モード、ゲームモード、ユーザーモード。**

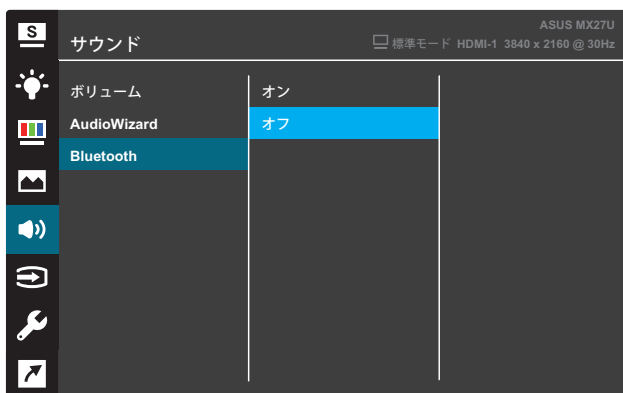


-
- ユーザーモードでは、イコライザー設定を調整することができます。
-

- **Bluetooth > オン:** ディスプレイとの自動ペアリングを許可し、Bluetooth対応オーディオ機器からのサウンド再生ができます。



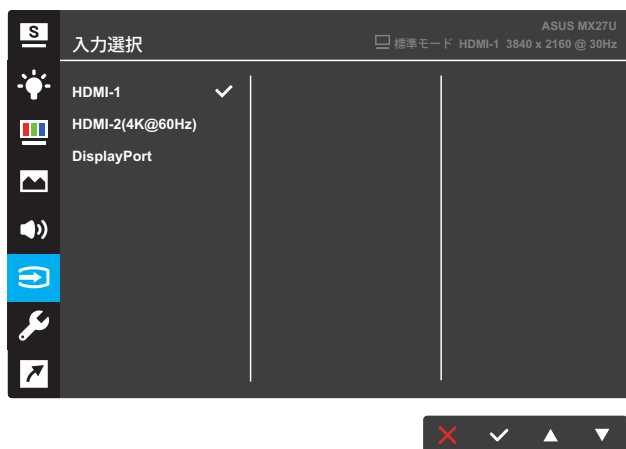
- **待機中オン:** ディスプレイが待機モード時、Bluetooth機能はオン。
- **待機中オフ:** ディスプレイが待機モード時、Bluetooth機能はオフ。
- **Bluetooth > オフ:** Bluetooth機能はオフ。



- 音声入力 HDMI または DisplayPort ポートからの場合には、Bluetooth設定を**オフ**に設定します。

6. 入力選択

入力ソースを選択します。



7. システム

システム設定を調整します。



(ページ 1/2)



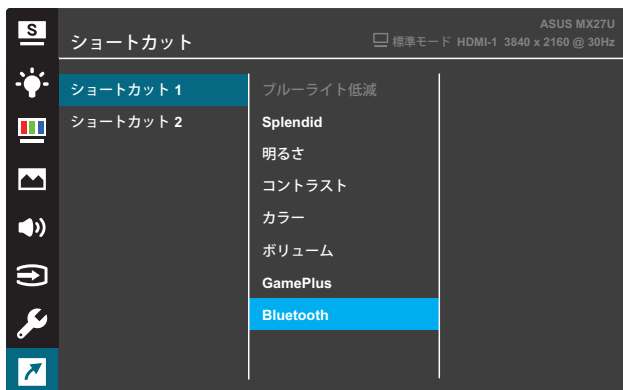
(ページ 2/2)

- **Splendid Demo Mode:** Splendid 機能のデモモードをアクティブにします。
- **DisplayPort ストリーム:** DP 1.1 または DP 1.2 を選択します。
- **ECO Mode:** 省電力のためのエコロジーモードをアクティブにします。
- **メニュー設定:** OSD画面のメニュータイムアウト、DDC/CI、透明を調整します。

- **言語:** OSD言語を選択します。選択肢は以下の通りです: **英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、オランダ語、ロシア語、繁体字中国語、簡体字中国語、日本語、ペルシャ語、タイ語、インドネシア語、ポーランド語、トルコ語、ポルトガル語、チェコ語、クロアチア語、ハンガリー語、ルーマニア語、および、韓国語。**
- **キーのロック:** 5 秒以上、右側の第 2 ボタンを押して、キーロック機能をアクティブにします。
- **情報:** ディスプレイ情報を表示します。
- **もつと:** システム設定の次ページに戻ります。
- **バック:** システム設定の前ページに戻ります。
- **電源インジケータ:** 電源 LED インジケータのオン/オフを切り替えます。
- **電源キーロック:** 電源キーを無効/有効にします。
- **USB 充電中:** 待機モード時の USB 充電を有効/無効にします。
- **すべてのリセット:** すべての設定を工場出荷時のデフォルトモードに戻すには、**はい**を選択します。

8. ショートカット

2つのショートカットキーに特定の機能を割り当てます。



(ショートカット 1)



(ショートカット 2)

- **ショートカット 1:** ショートカットキー 1 に機能を割り当てます。
利用可能なオプション: **ブルーライト低減**、**Splendid**、**明るさ**、**コントラスト**、**カラー**、**ボリューム**、**GamePlus**、**Bluetooth**。デフォルト設定は、**Bluetooth**です。
- **ショートカット 2:** ショートカットキー 2 に機能を割り当てます。
利用可能なオプション: **ブルーライト低減**、**Splendid**、**明るさ**、**コントラスト**、**カラー**、**ボリューム**、**GamePlus**、**Bluetooth**。デフォルト設定は、**ブルーライト低減**です。

3.1.2.1 GamePlus 機能

GamePlus 機能はツールキットで提供され、さまざまなタイプのゲームをプレイしているときユーザーのために快適なゲーム環境を作り出します。十字線オーバーレイには 4 種類の十字線オプションがあり、プレイ中のゲームに最適な 1 つを選択することができます。ゲームの経過時間を追跡するために、オンスクリーンタイマーをディスプレイの左側に配置できます。FPS (フレーム / 秒) カウンターを使用すると、実行中のゲームの滑らかさを表示することができます。

GamePlus をアクティブにする：

1. **オン**を選択して、GamePlus メインメニューに入ります。
2. **◀**と**▶**を押して、十字線、タイマー、FPS 機能の選択を切り替えます。
3. **✓**を押して、選択した機能を確定します。戻るには、**◀**を押します。
✗を押して、オフにして終了します。

| | |
|--|--|
| <p>GamePlus メインメニュー</p>  | <p>GamePlus - 十字線</p>  |
| <p>GamePlus - タイマー</p>  | <p>GamePlus - タイマー - 位置</p>  |
| <p>GamePlus - FPS - 位置</p>  | |

3.2 仕様

| モデル | MX27UQ |
|----------------------------|---|
| パネルサイズ | 27.0 インチ対角 (有効表示領域: 596.74 (H) x 335.66 (V) mm) |
| 最大解像度 | 3840 x 2160 |
| 明るさ(標準) | 300 cd/m ² |
| コントラスト比(標準) | 1000:1 |
| 視角 (CR≤10) | 178°(V); 178°(H) |
| ディスプレイカラー | 10.7 億色、10 ビット(8Bit + A-FRC) |
| 応答時間(標準) | 5ms (G to G) |
| 端子 | 入力: 2×HDMI、1×DP (DisplayPort)、1×USB充電器 オーディオ出力: イヤホン出力 |
| オーディオスピーカー | スピーカー出力3Wx2、Bluetooth®無線技術搭載 |
| 電力消費量 | 46W (標準)、52W (最大) |
| 待機時消費電力 | < 0.5W (AC110V~AC220V) |
| 電源オフ消費電力 | < 0.5W (AC110V~AC220V) |
| 外形 寸法(ベースを含む) (高さx幅x奥行) | 429.5 x 614.4 x 225.3 mm |
| 梱包サイズ(幅×高さ×奥行) | 700±5 x 537±5 x 120±5 mm |
| 本体重量(スタンドを含む) | 5.5 ±1.0 kg |
| 総重量(目安) | 8.0 ±1.0 kg |
| VESAウォールマウンティング | 利用不可 |
| 定格電圧 | 65W アダプタ DC 19V 3.42A、AC 100~240V (50/60Hz) (Delta ADP-65GD B) |
| 温度 | 動作温度: 0~40°C 保管温度: -30 ~ 65°C |
| 付属品 | 電源アダプタ、電源コード、クイックスタートガイド、保証書、HDMIケーブル(オプション)、DPケーブル(オプション) |
| 規制承認 | CE、CB、BSMI、FCC、CCC、EAC (CU)、VCCI、RCM、UL/cUL、MSIP(KCC)、KC(EK)、Energy Star®、Windows 7/8/10 WHQL、EPEAT (国別)、China Energy Label、ISO 9241-307、E-Standby、J-Moss、RoHS、WEEE、ErP |

* 仕様は予告なしに変更する場合があります。

3.3 トラブルシューティング (FAQ)

| 問題 | 可能な解決方法 |
|------------------------------|---|
| 電源 LED が点灯しない | <ul style="list-style-type: none"> 電源ボタンを押して、ディスプレイの電源が ON になっているかどうか確認してください。 電源コードがディスプレイとコンセントに正しく接続されているかどうか確認してください。 メインメニュー OSD で電源インジケータ機能を確認してください。「ON」を選択して、電源 LED をオンに切り替えます。 |
| 黄色の電源LEDが点灯しているのに画面に何も表示されない | <ul style="list-style-type: none"> ディスプレイとコンピュータの電源が ON になっているかどうか確認してください。 信号ケーブルがディスプレイとコンピュータに正しく接続されていることを確認してください。 信号ケーブルのピンが曲がっていないか確認してください。 コンピュータを使用可能な別のディスプレイに接続して、コンピュータが正しく作動しているかどうか確認してください。 |
| 画像が明るすぎる、または暗すぎる | <ul style="list-style-type: none"> OSD を用いてコントラストと明るさ設定を調整してください。 |
| 画像が上下に揺れる、または画像に波模様が現れる | <ul style="list-style-type: none"> 信号ケーブルがディスプレイとコンピュータに正しく接続されていることを確認してください。 電気障害を引き起こしている可能性のある電気機器をディスプレイから離してください。 |
| 画像の色彩に異常がある (白色が白く見えない) | <ul style="list-style-type: none"> 信号ケーブルのピンが曲がっていないか確認してください。 OSD を用いてリセットしてください。 OSD を用いて適切なカラーを選択してください。 |
| 音が出ない、または音が小さい | <ul style="list-style-type: none"> ディスプレイとコンピュータの両方のボリューム設定を調整してください。 コンピュータのサウンドカードドライバが正しくインストールされ、アクティブになっていることを確認してください。 音声入力を確認します。音声入力 が HDMI または DisplayPort からの場合には、Bluetooth設定をオフに設定してください。 |

3.4 対応タイミング一覧

VESA/IBM モード対応タイミング

| モード | 解像度(アクティブドット) | 解像度(総ドット) | 水平周波数(kHz) | 垂直周波数(Hz) | 公称ピクセル色(MHz) |
|--------|-------------------|-------------|------------|-----------|--------------|
| DOS | 720 x 400@70Hz | 900 x 449 | 31.469 | 70.087 | 28.322 |
| VGA | 640 x 480@60Hz | 800 x 525 | 31.469 | 59.940 | 25.175 |
| | 640 x 480@72Hz | 832 x 520 | 37.861 | 72.809 | 31.500 |
| | 640 x 480@75Hz | 840 x 500 | 37.500 | 75.000 | 31.500 |
| SVGA | 800 x 600@56Hz | 1024 x 625 | 35.156 | 56.250 | 36.000 |
| | 800 x 600@60Hz | 1056 x 628 | 37.879 | 60.317 | 40.000 |
| | 800 x 600@72Hz | 1040 x 666 | 48.077 | 72.188 | 50.000 |
| | 800 x 600@75Hz | 1056 x 625 | 46.875 | 75.000 | 49.500 |
| XGA | 1024 x 768@60Hz | 1344 x 806 | 48.363 | 60.004 | 65.000 |
| | 1024 x 768@70Hz | 1328 x 806 | 56.476 | 70.069 | 75.000 |
| | 1024 x 768@75Hz | 1312 x 800 | 60.023 | 75.029 | 78.750 |
| VESA | 1152 x 864@75Hz | 1600 x 900 | 67.500 | 75.000 | 108.00 |
| SXGA | 1280 x 1024@60Hz | 1688 x 1066 | 63.981 | 60.020 | 108.000 |
| | 1280 x 1024@75Hz | 1688 x 1066 | 79.976 | 75.025 | 135.00 |
| | 1280 x 960@60Hz | 1800 x 1000 | 60.000 | 60.000 | 108.000 |
| WXGA | 1280 x 800@60Hz | 1680 x 831 | 49.702 | 59.810 | 83.500 |
| | 1280 x 720@60Hz | 1650 x 750 | 45.00 | 60.000 | 74.250 |
| | 1280 x 768@60Hz | 1664 x 798 | 47.776 | 59.870 | 79.500 |
| | 1360 x 768@60Hz | 1792 x 795 | 47.712 | 60.015 | 85.500 |
| | 1366 x 768@60Hz | 1792 x 798 | 47.712 | 59.790 | 85.500 |
| WXGA+ | 1440 x 900@60Hz | 1904 x 934 | 55.935 | 59.887 | 106.500 |
| UXGA | 1600 x 1200@60Hz | 2160 x 1250 | 75.000 | 60.000 | 162.000 |
| WSXGA+ | 1680 x 1050@60Hz | 2240 x 1089 | 65.290 | 59.954 | 146.250 |
| WUXGA | 1920 x 1080@60Hz | 2200 x 1125 | 67.500 | 60.000 | 148.500 |
| WQHD | 2560 x 1440@60Hz | 2720x1481 | 88.790 | 59.950 | 241.500 |
| UHD | 3840 x 2160@30Hz | 4400 x 2250 | 67.500 | 30.000 | 297.000 |
| | 3840 x 2160@60Hz | 4400 x 2250 | 135.000 | 60.000 | 594.000 |
| MAC | 640 x 480@66.66Hz | 864 x 525 | 35.000 | 66.660 | 30.240 |
| SVGA | 832 x 624@75Hz | 1152 x 667 | 49.714 | 74.533 | 57.270 |

* 表に記載されていないモードはサポートされていない可能性があります。最適な解像度を得るために、表に記載されているモードをお選びになることを推奨します。